

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
関西学研医療福祉 学院	平成10年4月1日	学院長 檜葉 周三	〒631-0805 奈良市右京1-1-5 (電話) 0742-72-0600		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 青丹学園	平成10年4月1日	理事長 岡田 重憲	〒631-0805 奈良市右京1-1-5 (電話) 0742-72-0600		
目 的	業界が必要とする人材を、人間性を培うとともに、企業と連携して医療・福祉等に関する専門的知識及び技術を修得させ、広く社会に貢献できる作業療法士を養成する。				
課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療専門課程	作業療法学科	3年(昼)	3330単位時間 (又は単位)	専門士	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	1920単位時間 (又は単位)	90単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	1260単位時間 (又は単位)	60単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人	128人	6人	19人	25人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 各科目ごと各学期に試験を行う A (80点以上) B (70点以上80点未満) 合格 C (60点以上70点未満) D (60点未満) — 不合格	
長期休み	■夏季：5週間 ■冬季：2週間 ■春季：2週間		卒業・進級条件	■卒業条件：3年以上在学し、本学科所定の合計3330時間を修得すること。 ■卒業条件：各学年において履修すべき科目のうち、認定されない科目(不合格)が1科目以上あれば、原則進級、卒業はできない。	

生徒指導	■クラス担任制 (有) (無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任及び学科長、保護者による四者面談、学生相談室	課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会、ボランティア活動 ■サークル活動 (有) (無)
就職等の状況	■主な就職先、業界等 病院、介護老人保健施設 ■就職率 ^{※1} 100%	主な資格・検定	作業療法士 (国家資格)
中途退学の現状	■中途退学者 16名 ■中退率 12.4% 平成25年5月1日在学者 129名 平成26年5月1日在学者 128名 ■中途退学の主な理由 経済的理由、病気、進路変更 ■中退防止のための取組 個人面談、学費相談 (分割納入や奨学金等)、保護者面談、補習授業		
ホームページ	http://www.seitan.ac.jp/kg/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- ・患者様や社会から必要とされ信頼される作業療法士となれるように、業界が必要とする人材を企業との連携等を活かして育成する。
- ・実習修了時には、実習担当者による学生の成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月17日現在

名前	所属
田中 秀樹	関西学研医療福祉学院
上林 弘幸	関西学研医療福祉学院
大松 慶子	関西学研医療福祉学院
大西 茂樹	医療法人 社団 岡田会 (リハビリ科: 作業療法士)
佐守 友博	日本臨床検査医学会

(開催日時)

第1回 平成25年12月14日 13:30~14:30

第2回 平成26年9月27日 13:30~14:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

作業療法士養成所指導要綱に基づき、連携する病院・施設での臨床実習を実施。教育課程における位置づけや成績評価基準、意義についても明確にしている。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習Ⅰ	作業療法士である実習指導者のもと、実際の訓練場面やカンファレンス、関連他部門の実際を見学し、見学した内容を記録する。	医療法人 南風会 介護老人保健施設 万葉テラス、医療法人 新生会 高の原中央病院
臨床実習Ⅱ	臨床実習指導者の下で、対象者に適切な評価と作業療法計画立案の実践を学ぶことによって、これまで学習してきた様々な知識と体験とを統合する。	医療法人社団岡田会 山の辺病院
臨床総合実習Ⅰ	臨床実習指導者の下で、対象者への一貫した治療行為の実践を学ぶことによって、今まで学習してきた様々な知識と体験とを統合する。	奈良県立医科大学附属病院
臨床総合実習Ⅱ	臨床実習指導者の下で、対象者への一貫した治療行為の実践を学ぶことによって、今まで学習してきた様々な知識と体験とを統合する。	地方独立行政法人奈良県立病院 機構 奈良県総合リハビリテーションセンター

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本学院の定める「他所への臨床及び講義講演等の規定」において、学外の学校・病院・企業等への参画は奨励しており、その成果を学生教育に活かすことを目的としている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月17日現在

名前	所属
田中 秀樹	関西学研医療福祉学院
上林 弘幸	関西学研医療福祉学院
澤浦 知子	関西学研医療福祉学院
大松 慶子	関西学研医療福祉学院
古川 智子	関西学研医療福祉学院
安井 千恵	関西学研医療福祉学院
藤島 ルイコ	関西学研医療福祉学院

岡田 哲朗	医療法人 社団 岡田会 (歯科医師)
渋谷 淳子	医療法人 社団 岡田会 (看護師・事業部長)
福田 邦彦	保護者代表
竹中 唯	卒業生代表 (看護師)
安井 誠	地域代表

(学校関係者評価結果の公表方法)
URL: <http://www.seitan.ac.jp/kg/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)
閲覧 (事務所: 備え付け) とホームページに掲載 (様式4)
URL: <http://www.seitan.ac.jp/kg/>

授業科目等の概要

(作業療法学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次 学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 実 習 実 技
○			心理学	「こころ」の問題を考えるための基本的視座を学ぶ。	1 前	30	2	○		
○			倫理学	道徳、倫理の本質、起源、発達などの基本を学ぶ(医療倫理を含む)。	1 前	15	1	○		
○			社会学	人間の社会的行為と関連づけながら社会生活、社会組織及び家族等の基本を学習する。	1 前	15	1	○		
○			教育学	教育の目的、本質、方法、及び制度、行政等の基礎を学ぶ。	1 前	15	1	○		
○			公衆衛生学	公衆衛生とは組織化した地域活動を通じて、疾病の予防、生命の延長及び肉体的精神的健康の確保と増進を図る科学・技術であり、その基礎を学習する。	1 前	15	1	○		
○			化学	自然科学の一分野として、物質の成分組織、構造、生成、分解などの基礎を学習する。	1 前	15	1	○		
○			物理学	リハビリ関連機器の基本原理と運動学の基礎として力学に重点をおいて学習し、科学的思考を身につける。	1 前	15	1	○		
○			生物学	生物又は生命現象を対象にした学問の基礎を学ぶ。	1 前	30	2	○		△
○			情報処理学	各種情報機器の原理を学習し、演習において基本的なソフトの実際的な操作方法を修得する。	1 前	15	1	○	△	

○			統計学	医科学領域において特に役立つ統計学の基本的な概念や考え方を理解した上で実際に各種の検定法を利用して演習を行う。	1 後	15	1	○	△	
○			保健体育	生涯スポーツを通して健康保持増進に役立てるための学習を行う。	1 前	30	1	△		○
○			英語	国際社会に対応できる英語力を養う。	1 前	30	2	○		
○			医学英語	専門分野で必要な基礎的な英語を学ぶ。	1 後	30	2	○		
○			解剖学Ⅰ(1)	人体の構造を中心に、各器官及び組織の形態について学習し、体表解剖学、人体標本等の見学を通じた実習を行う。具体的な内容は、総論と各論(骨、関節、靭帯、循環器)。	1 前	30	2	○		
○			解剖学Ⅰ(2)		1 後	30	2	○		
○			解剖学Ⅱ(1)	人体内部の機能や構造等について学習し、人体標本等の見学を通じた実習を行う。具体的には、筋と内臓(呼吸器、消化器、泌尿器、内分泌)。	1 前	30	2	○		
○			解剖学Ⅱ(2)		1 後	30	2	○		
○			解剖学Ⅲ(1)	中枢神経、末梢神経、自律神経、感覚器について学習し、人体標本等の見学を通じた実習を行う。	1 前	30	2	○		
○			解剖学Ⅲ(2)		1 後	30	2	○		
○			生理学(1)	人体の各機能の基礎的内容を学習する。学習内容は、総論と各論(細胞生理、筋、神経、感覚、循環、呼吸、消化・吸収、内分泌、生殖、代謝・栄養)からなる。	1 前	30	2	○		
○			生理学(2)		1 後	30	2	○		

○		生理学実習 (1)	筋、神経、感覚、循環、呼吸等の機能や構造を理解するための実習を行う。	1 前	30	1	△		○
○		生理学実習 (2)		1 後	30	1	△		○
○		運動学(1)	人体構造と機能を知るために、運動器を中心に正常状態と異常状態を学習する。具体的には総論（力学、運動器官、運動分析、動作分析）と各論（姿勢、歩行、呼吸運動、上靭帯と肩関節を含め四肢の関節運動）。	1 前	30	2	○		
○		運動学(2)		1 後	30	2	○		
○		運動学実習 (1)	体表観察、運動分析・動作分析の実習を通して理解する。	1 前	30	1	△	○	
○		運動学実習 (2)		1 後	30	1	△	○	
○		病理学概論	疾病の原因及び形態的変化を主要疾病と関連させながら基本的内容について学習する。	2 後	30	2	○		
○		臨床心理学	障害者の心理を理解できるよう学習する。	1 後	30	2	○		
○		脳神経外科学	中枢・末梢の神経系の基礎的な知識を学習し、併せて神経疾患や病態等の基礎的知識を学習する。	2 前	30	2	○		
○		一般臨床医学	臨床医学全般を概観し、他の科目で取り上げられない、必要な基礎的知識を学習する。	1 後	30	2	○		
○		内科学	基本的な内科学知識について学習する。具体的には総論と各論（循環器、呼吸器、消化器、血液、造血器、代謝、内分泌、腎、泌尿器、膠原病、アレルギー、感染症、中毒、物理的原因）を学ぶ。	2 前	30	2	○		
○		整形外科学 (1)	基本的整形外科的基礎知識について学習する。具体的には、総論、各論、各部位の疾患及び外傷。	2 前	30	2	○		

○			整形外科学 (2)		2 後	30	2	○		
○			神経内科学 (1)	神経症候学並びに神経内科学及び脳神経外科領域でみられる疾患・障害の基礎的知識を学習する。具体的には、総論、症候学（末梢神経、中枢神経、筋萎縮、失調）。	2 前	30	2	○		
○			神経内科学 (2)		2 後	30	2	○		
○			精神医学(1)	精神医学の基礎知識を学習する。具体的には、総論、各論（器質性精神障害、機能的な精神障害、神経性精神障害、人格障害、児童期・青年期の発達障害、精神障害、老年期の障害）。	2 前	30	2	○		
○			精神医学(2)		2 後	30	2	○		
○			小児科学	小児の成長・発達と小児期によくみられる疾患を中心に学習する。具体的には総論、各論（循環器、呼吸器、消化器、血液、造血器、代謝、内分泌、胃、泌尿器、アレルギー、感染症、神経）。	2 前	30	2	○		
○			人間発達学	人間に対する理解の基礎として、各段階に於ける身体と運動機能の発達、知的・心理的・社会的な人格の発達を学習する。具体的には各期（小児期、青年期、成人期、老年期）における発達。	1 後	30	2	○		
○			リハビリテーション概論	リハビリテーションの理念と社会的・地域的リハビリテーションを含めた包括的なリハビリテーション医学の基本的原則を学習する。	1 前	30	2	○		
○			作業療法概論(1)	作業療法についてその全体像が把握できるよう総合的、体系的に学習する。	1 前	30	2	○		
○			作業療法概論(2)		1 後	30	2	○		
○			基礎作業学	作業学成立の歴史的背景と作業学の構造及び作業分析と指導法を学習する。	1 前	30	2	○		
○			基礎作業療法学実習Ⅰ (陶芸・木工・金工)	陶芸・木工・金工の基礎技法を実習し、併せて作業の分析や指導法を学習する。	1 後	30	1	△		○

○		基礎作業療 法学実習Ⅱ (絵画・織 物)	絵画・織物の基礎技法を実習し、併せて作 業の分析や指導法を学習する。	1 後	30	1	△		○
○		基礎作業療 法学実習Ⅲ (手工芸実 習)	手工芸の基礎技法を実習し、併せて作業の 分析や指導法を学習する。	1 前	30	1	△		○
○		レクリエー ション療法 演習	レクリエーションには遊び、各種のスポー ツ、芸能活動などがあり、室内で少人数で 行われるものから、戸外で多数が参加して 行われるものまである。これらの活動を通 じて発散、昇華、洞察などの精神的変化が 生じる。これについての実技を学ぶ。	2 前	30	1		○	
○		作業療法評 価学(1)	適切な治療及び指導を行えるよう、評価法 の基本的事項について学習する。	1 後	30	2	○		
○	作業療法評 価学(2)	2 前		30	2	○			
○	作業療法評 価学(3)	2 後		30	2	○			
○		作業療法評 価学実習(1)	作業療法評価学で学んだ内容を実習を通 して理解する。	2 前	30	1			○
○	作業療法評 価学実習(2)	2 後		30	1			○	
○		作業治療学 Ⅰ(身体障 害)(1)	身体障害に関する作業治療学。基礎知識と 各論(脳血管障害、脊髄損傷、神経、筋疾 患、リウマチ疾患、失調症、頭部外傷、切 断、脱髄疾患、呼吸器疾患、熱傷、骨折、 他)。又、各疾患を実際に見ることと、併 せて筋、感覚、循環、呼吸などの機能を理 解する。	2 前	60	4	○	△	
○		作業治療学 Ⅰ(身体障 害)(2)		2 後	60	4	○	△	
○		作業治療学 Ⅱ(精神障 害)(1)	精神障害に関する作業治療学を学ぶ。(各 論は、機能的な精神障害、器質性精神障害、 神経性精神障害、児童期・青年期の障害、 老年期の障害)。又、病院やデイ・センタ ーなどの関連施設の見学を通して障害の 理解を深める。	2 前	60	4	○		
○		作業治療学 Ⅱ(精神障 害)(2)		2 後	60	4	○		

○		作業治療学Ⅲ（発達障害）(1)	発達障害に関する作業治療学を学ぶ。（各論は、脳性麻痺、精神遅滞、先天奇形、進行性ジストロフィー、分娩麻痺、二分脊椎、その他）。又、正常児や障害児を実際に観察し、接することにより理解を深める。	2 前	60	4	○		△
○		作業治療学Ⅲ（発達障害）(2)		2 後	60	4	○		△
○		作業治療学Ⅳ（老年期障害）(1)	老年期障害、いわゆる老化に伴う変化、廃用症候群、認知症、老人性精神障害を含んだ老人特有の問題を考える。	2 前	30	2	○		
○		作業治療学Ⅳ（老年期障害）(2)		2 後	30	2	○		
○		作業治療学Ⅴ（日常生活活動）(1)	日常生活活動に関する技術論。基礎知識（定義、歴史、作業療法士の役割、生活様式とADL、指導理論）及び基礎技法（評価、指導計画、指導の実例）。さらに障害別の日常生活活動の評価や指導法を実習する（リハビリ関連機器を含む）。	2 前	30	2	○		△
○		作業治療学Ⅴ（日常生活活動）(2)		2 後	30	2	○		△
○		作業治療学Ⅵ（義肢装具学）(1)	義肢、装具、リハビリテーション関連機能（自助具を含む）について学ぶ。基礎知識（定義、歴史、種類、構造、機能、作業療法士の役割、対象疾患及び障害）と基礎技法（製作、適合判定、訓練、追跡調査）の実習。	2 前	30	2	○		△
○		作業治療学Ⅵ（義肢装具学）(2)		2 後	30	2	○		△
○		作業治療学Ⅶ（高次脳機能障害）	失語、失行、失認、認知症といった高次脳機能障害を学ぶ。神経心理学や高次神経活動の基本を含む。	2 後	30	2	○		△
○		作業治療学Ⅷ（職業前関連活動）	職業前関連活動について学ぶ。基礎知識（定礎、歴史、作業療法士の役割、職業リハビリテーションと作業療法）と基礎技法（評価、指導計画、指導の実際-職業前訓練を含む）。	2 後	30	2	○		△
○		地域作業療法学(1)	地域で必要となる基礎的な知識・技術を学ぶ。	2 前	30	2	○		△
○		地域作業療法学(2)		2 後	45	3	○		△

○		地域作業療法学実習	地域作業療法で学んだ知識を基に、実際の対象者に対して計画を立案し実施する。	3 後	60	2	△		○
○		臨床実習Ⅰ	作業療法士の指導の下に、各疾患、各年齢層の患者について身体的、心理的、社会的状況を把握し、作業療法を行う。施設は身体障害者（児）施設、老人施設、精神科病院等である。	1 後	90	2		△	○
○		臨床実習Ⅱ		2 後	180	4			○
○		臨床総合実習Ⅰ		3 前	360	8			○
○		臨床総合実習Ⅱ		3 後	360	8			○
	○	医療福祉学	作業療法士として必要な医療福祉分野の知識を学ぶ。	3 後	15	1	○		△
	○	作業療法理論概論	作業療法理論の歴史的な流れと現在の代表的な作業療法モデルについて学ぶ。	3 後	15	1	○		
	○	グループダイナミクス論	小集団の法則性を追求し、集団過程の原因を究明し、その原理を実際に適用する技術を実習する。	3 後	15	1	○		△
	○	芸術療法概論	絵画その他の造形活動を主として創作的・芸術的活動を媒介とする治療法の基礎を学ぶ。	3 後	15	1	○		△
	○	作業療法治療概論	発達障害児や中枢神経障害者の治療法や理論を学ぶ。	3 前	30	2	○		△
	○	作業療法総合演習	作業療法の基本的知識で確認修得する。	3 後	15	1	○		
	○	障害者スポーツ論	障害者スポーツの概要を実際について学び、実技としてはレクリエーションを重視してとり組む。	1 後	15	1	△		○
	○	レクリエーション概論	レクリエーションの意義・役割を理解し、計画をたてられるようになる。	1 後	15	1	△		○
合計			82 科目	3330 単位時間		(165 単位)			